

日本行動療法学会 第36回研修会
(2012年9月21日開催、於:立命館大学 衣笠キャンパス)

番号	時間	ワークショップタイトル(予定)	講師氏名	定員(名)
		対象		
WS1	9:30-12:30	ACTを使いこなすための臨床行動分析入門:「クライアント-セラピスト」関係を中心に	武藤 崇	250
		初級以上		
WS2	9:30-12:30	「やめられない、とまらない」へ挑む認知行動療法:自傷行為、病的ギャンブリングから強迫行為まで	神村 栄一	50
		認知行動療法・行動療法・応用行動分析学について初級でも構いません(とは言え、出来れば当日までに、基礎について予習を期待します)。ただし、「やめられない、とまらない」に苦しむ症状や困難を持つ方への支援経験をお持ちの方のみを対象とします。(実践経験有りの大学院生の方を含み)職種や資格等は限定しません。		
WS3	9:30-12:30	認知行動療法導入期のポイント(アセスメントからケースフォーミュレーション)	鈴木 伸一	250
		初学者・初級者向		
WS4	9:30-12:30	単一事例研究法:初歩の初歩	大野 裕史	40
		初心者のみ		
WS5	9:30-12:30	本に書かれていない発達障害児の指導法2	谷 晋二	40
		初級から中級		
WS6	13:30-16:30	境界性パーソナリティ障害などの感情調節困難のための弁証法的行動療法の日本での活用	遊佐 安一郎	250
		中級: パーソナリティ障害、発達障害、物質依存、摂食障害などにみられるような、強く辛い感情に圧倒され、生きにくさを経験している方の治療経験がある方(治療経験がなくても個人的に知っている場合でも可)		
WS7	13:30-16:30	精神科外来診療における認知行動療法の活用-講義とワークショップによる研修	原田 誠一	250
		指定なし		
特別企画	13:30-16:30	ゴールを作る会話:解決志向アプローチ	黒沢 幸子	250
WS8		指定なし		
WS9	13:30-16:30	マインドフルネス認知療法 -気づきと受容をどのように育てるのか-	越川 房子	30
		ご自身でもマインドフルネス瞑想を継続的に実践する意欲のある方		
WS10	13:30-16:30	社交不安障害の個人認知行動療法の実践	清水 栄司	40
		実際の治療経験が1例以上あるかた		

特別企画	13:30- 16:30	メタファーのつくり方とつかい方 —エリクソニアン・アプローチ入門—	津川 秀夫	40
WS11		指定なし		
WS12	13:30- 16:30	明日から使える臨床的有意性の指標:行動療法研究に求められる統計学	奥村 泰之	30
		介入研究に興味がある方		
		注意事項:データ解析環境Rをインストールしたノートパソコン持参のこと		
WS13	17:30- 20:30	行動療法は、なぜ不登校を激減できるのか—市単位の不登校減少対策の成果から—	小野 昌彦	250
		指定なし		
WS14	17:30- 20:30	学校での「問題」行動を認知行動療法で考えると…?	杉山 雅彦	100
		指定なし		
WS15	17:30- 20:30	言語行動の2つの定義からACTを理解する	熊野 宏昭	150
		学部生・院生も可		
WS16	17:30- 20:30	行動療法を身につけるための症例検討会	中川 彰子	40
		行動療法による患者さんの治療経験のある人		
WS17	17:30- 20:30	EMDR:トラウマに焦点を当てた見立てと治療	市井 雅哉	40
		トラウマ治療に関心のある方。ストレス関連障害の治療に関心のある方。EMDRに関心のある方。		
WS18	17:30- 20:30	上級者向き, スーパービジョントレーニング	原井 宏明	40
		上級者のみ(治療した経験が数年以上、症例数100例以上)、初中級者をトレーニング・指導する立場にある人		
WS19	17:30- 20:30	性犯罪加害者に対する集団認知行動療法	嶋田 洋徳	30
		初級者向き		